

駐車場予約管理システム開発業務
公募型プロポーザル Q & A

令和7年7月9現在

No.	箇所	質問内容	回答
1	実施要領・P3 7.応募方法 (1) 提出書類 ⑦業務見積書2	見積は12か月分か	12か月分で見積ること。
2	仕様書2（駐車場予約 管理システム運用に関 するコールセンター業 務）P1 3.契約期間	コールセンター業務について期間が明記されていないが、システム同様に契約期間は令和8年1月23日までとなるのか	契約は令和8年度以降を想定している。 駐車場予約システム開発後、一定の周知期間を設けて予約受付を開始する予定のため、コールセンターの開設時期（契約開始時期）は未定です。受注者と協議のうえ決定します。
3	仕様書2（駐車場予約 管理システム運用に関 するコールセンター業 務）P1 4.委託金額	コールセンター業務についての委託金額が上限税込1600万となっているが、こちらは月の上限か	1年（12か月）の業務委託金額の上限となる。
4	仕様書2（駐車場予約 管理システム運用に関 するコールセンター業 務）P2 (2) 使用ツール	コールセンター業務はメール対応を想定しているか。	メール対応は想定していません。 電話での対応のみとなります。

No.	箇所	質問内容	回答
5	実施要領・P2 6.応募資格	応募する者や共同提案者が、「駐車場予約管理システム運用」も「コールセンター業務」も、両方できることが条件であり、両方の実績が過去5年以内でないといけないということか	過去の実績はP5.審査基準の「業務実績」における評価対象とするものであり、 両方の実績が必要ではない。 「6.応募資格の（３）」を踏まえ、「駐車場予約管理システムの開発」を自社できる応募者が、「コールセンター業務」を管理監督できれば構いません。以下にパターンを例示する。 例1) 応募者が「駐車場予約管理システムの開発・運用」、「コールセンター業務」の２つを自社の業務として対応可能。 例2) 応募者が駐車場予約管理システムの開発・運用」を自社の業務として行い、「コールセンター業務」は提携する別の事業者（応募者が管理監督できる事業者）にて実施する。
6	実施要領・P1 6.応募資格	No.5の回答を踏まえ、「駐車場予約管理システムの開発事業者」と「コールセンター業務の事業者」が資本提携している場合、それぞれの事業者に対して直接契約することは可能か。	それぞれの会社が連携できるのであれば、別々に契約することは可能である。
7	仕様書2（駐車場予約管理システム運用に関するコールセンター業務）P1 3.契約期間	コールセンター業務は、将来的にどれくらいの開設期間を想定しているのか。	コールセンター業務が落ち着いたと判断した場合は、発注者と受注者との協議のうえ、業務の縮小または廃止することはある。ただし、継続を判断するための期間として、３年間程度はコールセンターの開設を継続する予定である。

No.	箇所	質問内容	回答
8	実施要領・P4 9.企画提案書等の審査、(2)プレゼンテーションおよび審査日	プレゼンテーションはオンラインで参加可能か	オンライン参加は不可とし、白川村役場での対面プレゼンテーションのみとする。
9	実施要領・P2 6.応募資格	業務の再委託、再々委託は問題ないか。	条件付きで再委託・再々委託は可能。白川村の「委託業務契約約款（抜粋）」を以下に示す。 （再委託の禁止） 第4条 受託者は、原則として、委託業務の全部又は一部を第三者に委託することはできないものとする。ただし、業務の遂行のため合理的に必要な範囲内で、委託者の事前の承認を得ることを条件に再委託することができる。 2 前項の場合、受託者は、再委託先に本契約に基づく一切の義務を遵守させるものとする。
10	実施要領・P4 9.企画提案書等の審査、(2)プレゼンテーションおよび審査日	23日のプレゼンテーションは再委託先の参加は可能か。	プレゼンテーションを補足する目的による再委託先の参加は可能。ただし、プレゼンテーション自体は提案者が主体となって行うこと。
11	仕様書1・7.業務範囲、(4)サーバー及びドメイン・P3	令和8年2月以降は、別途入札が行われる予定か。	仕様書に「令和8年2月以降は、別途契約にて運用及び保守管理を受注者に委託することを想定している。」と記載があるように、受託者と継続した契約を行う予定のため、改めて入札は行わない。

No.	箇所	質問内容	回答
12	仕様書1・7.業務範囲、(1)利用者向け機能・P2	「将来的に普通利用者も含む」とございますが、今回の予算で普通車の予約対応は含まない理解良いか。もし、含まれる場合はどのような機能が必要か。	仕様書に記載のとおり。 今回のシステム開発には普通車の予約対応は含まない。 したがって、現時点でどのような機能が必要かを明言することはできない。
13	仕様書1・7.業務範囲、(1)管理者向け機能、①予約状況管理機能・P3	「印刷出力機能」はCSVダウンロード機能とは別機能という理解で良いでしょうか。 その場合、具体的にどのような機能が求められるでしょうか。	仕様書に記載のとおり。 「印刷出力機能」は「CSVダウンロード機能」は別機能である。具体的な内容は受注者との協議のうえ決定するが、①予約状況管理機能の(ア)～(カ)に対応した機能を想定すること。
14	仕様書1・7.業務範囲、(1)管理者向け機能、②料金管理機能・P3	4パターン(標準料金、繁忙期料金、冬期料金、冬期繁忙期料金)以外は想定対象外として問題ないか。	仕様書に記載のとおり。 現時点で想定しているのは4パターンのみ。
15	仕様書1・7.業務範囲、(1)管理者向け機能、②料金管理機能・P3	「(イ)将来的な普通車向けの料金設定機能追加を容易にする設計」は、バスの運用と同様の想定で問題ないか。	仕様書の別紙1「ツアーバス駐車場の運用フロー」を参照のこと。基本同様であるが、普通車の場合は2.3のオペレーションを省力化する仕組みを検討する予定。
16	仕様書1・7.業務範囲、(1)管理者向け機能、②料金管理機能・P3	通常期間、特別期間のそれぞれの予約枠で管理する運用想定で問題ないか。	お見込みの通り。

No.	箇所	質問内容	回答
17	仕様書1・7.業務範囲、(1)管理者向け機能、④売上管理機能・P3	「(ア) 予約データに基づいた売上計算、レポートのCSVダウンロード、印刷出力機能」について、具体的にどのような機能が必要なのか。レポートや印刷で必要となる情報とは具体的にはどのようなものか。	仕様書に記載のとおり。 売上管理機能のため、予約台数に基づく期間別(1日、1か月、1年)の計算などを想定している。具体的な内容は受注者と協議のうえ決定するため、明言することはできない。
18	仕様書1・7.業務範囲、(1)管理者向け機能、⑤システム設定機能・P3	「(エ) 将来的な機能拡張に対応しやすい柔軟な設計」について、具体的な機能要件は何か。	「機能拡張」が必要になった時点で内容が決まるため、例示することができない。
19	仕様書1・7.業務範囲、(1)管理者向け機能、⑥データバックアップ機能・P3	「(イ) 設定変更時にバックアップを取得」について、管理側で設定変更した際、前回の設定内容に戻せるような考慮が必要ということか。	設定変更時などにおけるプログラムエラー等による予約情報の消去などのリスク軽減のためのバックアップを想定している。設定内容に戻すというよりは、有事の際、予約情報を直近の情報に回復することを目的とする。
20	仕様書1・7.業務範囲、(1)管理者向け機能、⑦駐車時間帯管理機能・P3	駐車スペースごとの制御ではなく、駐車場単位で制御できれば問題ないか。将来的に拡充される普通車用の駐車場も対象か。	仕様書P2「7.業務範囲」に記載の通り。普通車も同様の予定。以下に抜粋。 「駐車場の予約システムは、特定の駐車位置を予約するものではなく、予め財団が指定する駐車場枠(台数)において、営業時間(原則8:00~17:00)内に駐車可能なバスの予約情報を管理するものとする」
21	仕様書1・7.業務範囲、(5)技術要件・P4	「アクセシビリティ、ユーザビリティに配慮したサイトの設計」はどこまでのレベルが求められるのか。	過剰な対応は不要。一般的なレベル。

No.	箇所	質問内容	回答
22	仕様書1・7.業務範囲、(7) その他・P4	アクセスカウンターについて、管理者向け・利用者向けどちらの機能想定しているのか。	仕様書「(7) その他」に「WEBサイトのアクセス数が客観的に分かるように」とあるように、サイトの閲覧状況を表示することが目的のため、「管理者向け・利用者向け」という区分けはない。
23	仕様書1・7.業務範囲、(1) 管理者向け機能、②料金管理機能・P3	「(イ) 将来的な普通車向けの料金設定機能追加を容易にする設計」について、将来的な普通車利用者の対応について、事前決済をする可能性はあるか。	(1) 利用者向け機②予約機能に「(エ) 料金は現地払いのみとし、オンライン決済機能は不要」、別紙1「ツアーバス駐車場の運用フロー」に「料金は出庫の際に料金精算機2台のいずれかにより現金またはキャッシュレス(クレジットカード等)にて支払い」あるように、現時点では、事前決済をする可能性は無い。
24	仕様書1・7.業務範囲、(1) 管理者向け機能、②料金管理機能・P3	「(イ) 将来的な普通車向けの料金設定機能追加を容易にする設計」について、将来的な普通車利用者の対応について、連泊を認める場合はあるか。	(1) 利用者向け機②予約機能に「(ウ) その日のうちに出庫させる予約設定(連泊を認めない)」あるように、現時点では連泊を認める予定はない。
25	仕様書2・6.業務範囲、(1) 運用体制、②言語・P3	「将来的に中国語対応も」とは、オペレーター2名体制でのことか。	6.業務範囲(1) 運用体制において、③人員体制「(ウ) 繁忙期や問い合わせの傾向を分析し、発注者と協議のうえ、必要に応じて増員を検討すること。」あるように、受注者と協議のうえ人員配置を検討するため、2名とは限らない。
26	仕様書2・6.業務範囲、(1) 運用体制、②言語・P3	外国語対応の技量に対して、どのようにお考えでしょうか。資格指標等がありますでしょうか。	④の役割にある業務を遂行できる能力があれば良く、資格指標は示すことはない。